

運用報告書（全体版）

第19期

（決算日：2021年5月27日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式／インデックス型	
信託期間とクローズド期間	原則として無期限（クローズド期間はありませぬ）	
運 用 方 針	主としてSBI TOPIX100・インデックス マザーファンドに投資し、TOPIX100インデックスと連動する投資成果を目標として運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち、TOPIX100インデックスに採用されている銘柄を主要投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド（ベビーファンド）	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、委託会社の判断により収益分配を行わないこともあります。	

 SBI Asset Management

SBI TOPIX100・ インデックスファンド ＜DC年金＞

追加型投信／国内／株式／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「SBI TOPIX100・インデックスファンド
＜DC年金＞」は、2021年5月27日に第19期決算
を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い
申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、
レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
15期(2017年5月29日)	12,293	0	17.9	992.84	15.8	96.7	5,080
16期(2018年5月28日)	13,904	0	13.1	1,104.79	11.3	97.7	5,968
17期(2019年5月27日)	12,831	0	△ 7.7	994.96	△ 9.9	96.8	6,108
18期(2020年5月27日)	13,068	0	1.8	991.13	△ 0.4	96.9	6,676
19期(2021年5月27日)	16,784	0	28.4	1,248.90	26.0	97.9	8,899

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) ベンチマークは TOPIX100 インデックスです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2020年5月27日	13,068	—	991.13	—	96.9
5月末	13,211	1.1	1,002.33	1.1	97.6
6月末	13,202	1.0	1,000.34	0.9	98.7
7月末	12,743	△ 2.5	965.47	△ 2.6	98.8
8月末	13,757	5.3	1,043.02	5.2	98.8
9月末	13,738	5.1	1,031.50	4.1	97.8
10月末	13,432	2.8	1,008.05	1.7	98.0
11月末	15,041	15.1	1,130.12	14.0	98.4
12月末	15,610	19.5	1,172.23	18.3	99.2
2021年1月末	15,579	19.2	1,169.78	18.0	98.9
2月末	16,225	24.2	1,218.39	22.9	99.1
3月末	16,973	29.9	1,263.40	27.5	98.1
4月末	16,498	26.2	1,227.67	23.9	98.3
(期末)					
2021年5月27日	16,784	28.4	1,248.90	26.0	97.9

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) ベンチマークは TOPIX100 インデックスです。

TOPIX100・インデックスは、東京証券取引所の株価指数「TOPIX」の構成銘柄を一定の基準で規模ごとに6つに細分化した時価総額加重型株価指数の一つです。TOPIX100の構成銘柄は、上場後6カ月以上経過した東証市場第一部銘柄の中から、時価総額及び流動性の高い100銘柄で構成されています。なお、TOPIX100に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2020年5月28日から2021年5月27日まで）

○基準価額等の推移



期 首：13,068円

期 末：16,784円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 28.4%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額及びベンチマークは、期首（2020年5月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注4) ベンチマークはTOPIX100・インデックスです。詳細はP1をご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの今期における基準価額は13,068円から始まった後、おおむねTOPIX100・インデックスに連動した値動きとなりました。期の上旬は、6月に新型コロナウイルス感染第2波への警戒感から国内株式が下落したことや、7月末にかけて米中対立再燃、新型コロナウイルス感染者増加、円高進行などを嫌気して国内株式が調整したことなどから基準価額は上値の重い展開が続き、7月31日に期中最安値となる12,743円を付けました。その後は、ワクチン実用化への期待、年明け以降は経済正常化期待などを背景に、国内株式が上昇基調で推移したことが基準価額の上昇要因となり、2021年3月18日に期中最高値となる17,295円を付けました。期末にかけては相場の調整と共にやや下落し、決算日である5月27日の基準価額は16,784円となりました。

○投資環境

当期の国内株式市場は、国内での緊急事態宣言の解除などを好感して急伸してスタートしましたが、6月後半以降は、新型コロナ感染第2波への懸念が上値を抑える一方、米株高や企業業績の底打ち期待などが下支えし、一進一退の展開となりました。安倍首相の辞任報道を受け急落する局面もありましたが、後任総裁が菅氏になるとの見方が広まると政策の継続性への安心感から反発しました。その後は、欧米での新型コロナの感染再拡大などを嫌気して再度上値が重くなりました。

期の後半は、11月に米大統領選を通過して米国政治の不透明感が後退したことに加え、新型コロナのワクチン開発報道を受けてリスクオンの動きが強まったことから、大きく上昇しました。年明け後も、米議会で、大統領と上下両院の多数派を民主党が獲得する「トリプルブルー」が実現する見通しとなり、大型経済対策による景気回復期待が高まったことから続伸しました。経済正常化を見据えて金利が上昇するなか、景気敏感株や割安株を物色する動きが強まり、TOPIXは約30年ぶりに2,000ポイント台の大台に乗せました。その後は、企業の本決算発表を前に期待先行だった物色が一巡したことや、日本国内での新型コロナウイルスの感染拡大及びワクチン接種の遅れなどを受け、やや調整して期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

ベンチマークである TOPIX100・インデックスに連動する投資成果をめざし、「SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド」受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド>

ベンチマークである TOPIX100・インデックスの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。インデックスとの乖離を最小限に抑えるべくトラッキングエラーやリスクを管理し、組入比率を高位に維持することなどにより、ほぼベンチマークに近い運用を行いました。

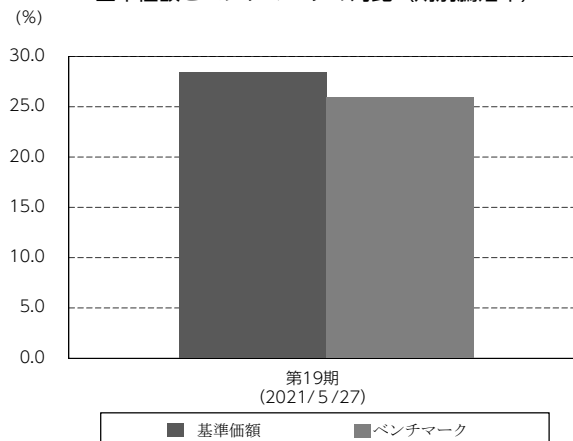
また、株式の組入比率に関しては、97%以上の株式組入比率を維持しました。なお、期末の株式組入比率は98.1%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は、+28.4%の値上がりとなり、ベンチマークである TOPIX100・インデックスの騰落率+26.0%をおおむね2.4%上回りました。

株式配当金の受取りがプラスに寄与しました。一方、売買手数料などの諸費用を支払ったことがマイナスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注2) ベンチマークは、TOPIX100・インデックスです。詳細はP1をご参照ください。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項目	第19期
	2020年5月28日～ 2021年5月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,634

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き「SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド」受益証券に投資する方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド>

引き続きわが国の株式を中心に投資を行い、TOPIX100・インデックスと連動する投資成果を目標として運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年5月28日～2021年5月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	39 (15) (16) (8)	0.264 (0.099) (0.110) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	1 (1)	0.010 (0.010)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権 口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (0) (0)	0.004 (0.003) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	41	0.278	
期中の平均基準価額は、14,667円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

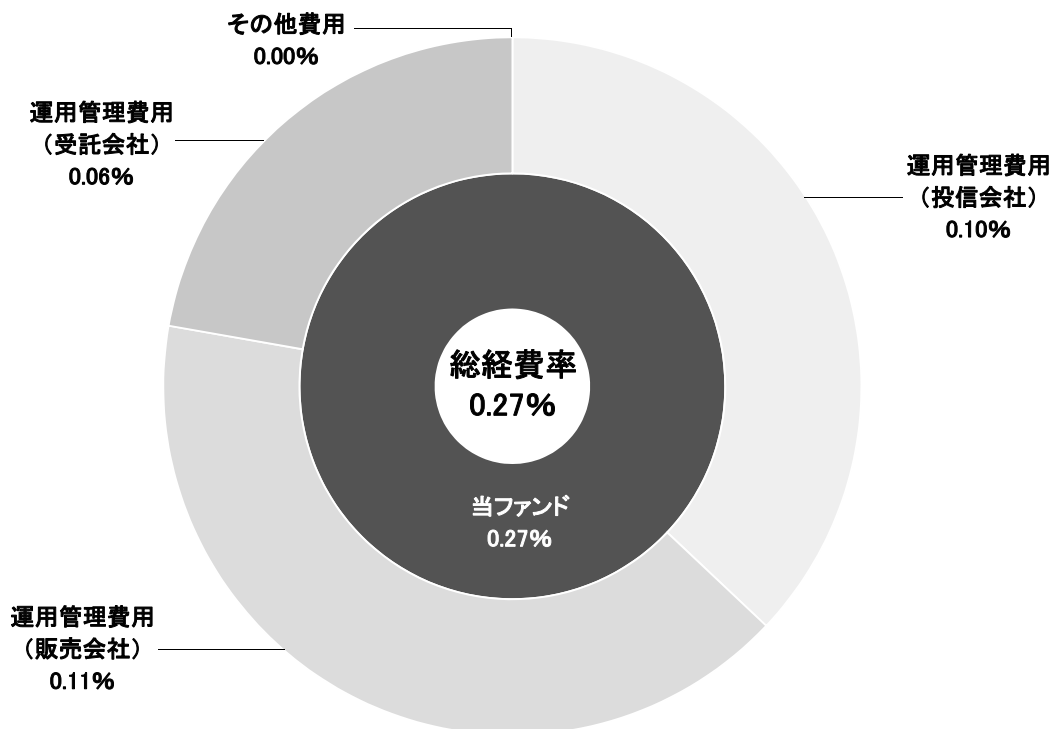
(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**0.27%**です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年5月28日～2021年5月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド	千口 644,144	千円 1,146,000	千口 489,811	千円 841,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2020年5月28日～2021年5月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	1,581,475千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,430,331千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.21	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月28日～2021年5月27日)

利害関係人との取引状況

<SBI TOPIX100・インデックスファンド<DC年金>>

該当事項はありません。

<SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 1,045	百万円 1,045	% 100.0	百万円 536	百万円 397	% 74.1

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	752千円
うち利害関係人への支払額 (B)	633千円
(B) / (A)	84.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2021年5月27日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド	千口 4,373,723	千口 4,528,055	千円 8,884,498

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年5月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド	千円 8,884,498	% 99.6
コール・ローン等、その他	31,724	0.4
投資信託財産総額	8,916,222	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年5月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	8,916,222,526円
コール・ローン等	31,724,518
SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド(評価額)	8,884,498,008
(B) 負債	16,304,420
未払解約金	5,121,694
未払信託報酬	11,017,640
未払利息	86
その他未払費用	165,000
(C) 純資産総額(A-B)	8,899,918,106
元本	5,302,719,814
次期繰越損益金	3,597,198,292
(D) 受益権総口数	5,302,719,814口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,784円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	5,108,934,876円
期中追加設定元本額	1,417,048,271円
期中一部解約元本額	1,223,263,333円

○損益の状況 (2020年5月28日～2021年5月27日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 31,793円
支払利息	△ 31,793
(B) 有価証券売買損益	1,705,416,852
売買益	1,917,911,499
売買損	△ 212,494,647
(C) 信託報酬等	△ 20,672,470
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,684,712,589
(E) 前期繰越損益金	393,660,435
(F) 追加信託差損益金	1,518,825,268
(配当等相当額)	(4,616,306,583)
(売買損益相当額)	(△ 3,097,481,315)
(G) 計(D+E+F)	3,597,198,292
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	3,597,198,292
追加信託差損益金	1,518,825,268
(配当等相当額)	(4,621,255,981)
(売買損益相当額)	(△ 3,102,430,713)
分配準備積立金	2,078,373,024

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(183,454,160円)、費用控除後の有価証券等損益額(1,087,098,813円)、信託約款に規定する収益調整金(4,621,255,981円)および分配準備積立金(807,820,051円)より分配対象収益は6,699,629,005円(10,000口当たり12,634円)ですが、当期に分配した金額はありません。

第19期 運用報告書

(決算日 2021年5月27日)

SBI TOPIX100・インデックス マザーファンド

受益者のみなさまへ

SBI TOPIX100・インデックス マザーファンドの第19期（2020年5月28日から2021年5月27日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運 用 方 針	TOPIX100・インデックスと連動する投資成果を目標として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の金融商品取引所上場株式のうち、TOPIX100 インデックスに採用されている銘柄を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	純資産総額
	円	騰落率	円	騰落率		
15期(2017年5月29日)	14,209	18.3	992.84	15.8	97.0	5,064
16期(2018年5月28日)	16,119	13.4	1,104.79	11.3	98.0	5,951
17期(2019年5月27日)	14,912	△ 7.5	994.96	△ 9.9	97.0	6,093
18期(2020年5月27日)	15,228	2.1	991.13	△ 0.4	97.2	6,660
19期(2021年5月27日)	19,621	28.8	1,248.90	26.0	98.1	8,884

(注1) ベンチマークは TOPIX100 インデックスです。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率
	円	騰落率	円	騰落率	
(期首) 2020年5月27日	15,228	—	991.13	—	97.2
5月末	15,395	1.1	1,002.33	1.1	97.8
6月末	15,389	1.1	1,000.34	0.9	98.9
7月末	14,856	△ 2.4	965.47	△ 2.6	99.0
8月末	16,044	5.4	1,043.02	5.2	99.0
9月末	16,026	5.2	1,031.50	4.1	98.0
10月末	15,672	2.9	1,008.05	1.7	98.2
11月末	17,557	15.3	1,130.12	14.0	98.6
12月末	18,227	19.7	1,172.23	18.3	99.4
2021年1月末	18,194	19.5	1,169.78	18.0	99.0
2月末	18,954	24.5	1,218.39	22.9	99.3
3月末	19,834	30.2	1,263.40	27.5	98.3
4月末	19,282	26.6	1,227.67	23.9	98.5
(期末) 2021年5月27日	19,621	28.8	1,248.90	26.0	98.1

(注1) 騰落率は期首比。

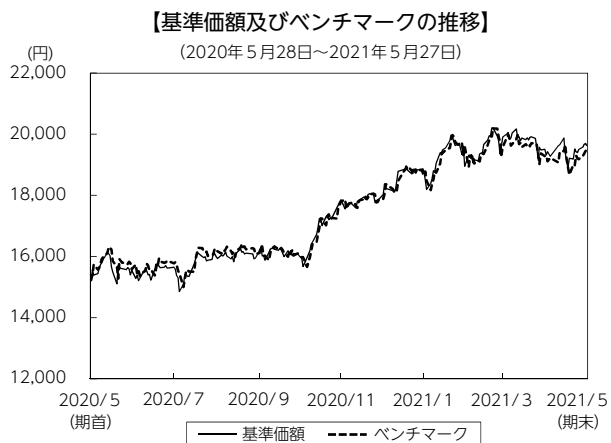
(注2) 未払金等がある場合は、株式組入比率が100%を超えることがあります。

(注3) ベンチマークは TOPIX100 インデックスです。

(注4) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■ 当期の運用状況と今後の運用方針（2020年5月28日から2021年5月27日まで）

○ 基準価額等の推移



(注1) ベンチマークはTOPIX100・インデックスです。詳細はP1をご参照ください。

(注2) ベンチマークは期首（2020年5月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

当ファンドのマザーファンドの基準価額は期首15,228円から始まったあと、期末には19,621円となりました。期を通じて騰落率は+28.8%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2020/5/27	2021/3/18	2020/7/31	2021/5/27
基準価額（円）	15,228	20,209	14,856	19,621

○投資環境

当期の国内株式市場は、国内での緊急事態宣言の解除などを好感して急伸してスタートしましたが、6月後半以降は、新型コロナ感染第2波への懸念が上値を抑える一方、米株高や企業業績の底打ち期待などが下支えし、一進一退の展開となりました。安倍首相の辞任報道を受け急落する局面もありましたが、後任総裁が菅氏になるとの見方が広まると政策の継続性への安心感から反発しました。その後は、欧米での新型コロナの感染再拡大などを嫌気して再度上値が重くなりました。

期の後半は、11月に米大統領選を通過して米国政治の不透明感が後退したことに加え、新型コロナのワクチン開発報道を受けてリスクオンの動きが強まったことから、大きく上昇しました。年明け後も、米議会で、大統領と上下両院の多数派を民主党が獲得する「トリプルブルー」が実現する見通しとなり、大型経済対策による景気回復期待が高まったことから続伸しました。経済正常化を見据えて金利が上昇するなか、景気敏感株や割安株を物色する動きが強まり、TOPIXは約30年ぶりに2,000ポイント台の大台に乗せました。その後は、企業の本決算発表を前に期待先行だった物色が一巡したことや、日本国内での新型コロナウイルスの感染拡大及びワクチン接種の遅れなどを受け、やや調整して期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

ベンチマークであるTOPIX100・インデックスの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。インデックスとの乖離を最小限に抑えるべくトラッキングエラーやリスクを管理し、組入比率を高位に維持することなどにより、ほぼベンチマークに近い運用を行いました。

また、株式の組入比率に関しては、97%以上の株式組入比率を維持しました。なお、期末の株式組入比率は98.1%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は、+28.8%の値上がりとなり、ベンチマークであるTOPIX100・インデックスの騰落率+26.0%をおおむね2.8%上回りました。

株式配当金の受取りがプラスに寄与しました。一方、売買手数料などの諸費用を支払ったことがマイナスに寄与しました。

○今後の運用方針

引き続きわが国の株式を中心に投資を行い、TOPIX100・インデックスと連動する投資成果を目標として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2020年5月28日～2021年5月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.010 (0.010)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	2	0.010	
期中の平均基準価額は、17,119円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2020年5月28日～2021年5月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		391 (△583)	1,045,094 (-)	197	536,380

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年5月28日～2021年5月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,581,475千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,430,331千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.21

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月28日～2021年5月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 1,045	百万円 1,045	% 100.0	百万円 536	百万円 397	% 74.1

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	752千円
うち利害関係人への支払額 (B)	633千円
(B) / (A)	84.2%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2021年5月27日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
鉱業(1%)			
INPEX	27.3	—	—
建設業(1.0%)			
大東建託	1.9	—	—
大和ハウス工業	15.5	15.8	49,153
積水ハウス	17.2	18.5	42,291
食料品(2.4%)			
アサヒグループホールディングス	10.5	12	64,248
キリンホールディングス	21.3	23.2	51,921
味の素	11.1	13	31,902
日本たばこ産業	29	29.3	64,152
繊維製品(0.3%)			
東レ	35.5	38.7	27,186
化学(6.4%)			
旭化成	32.5	35.4	42,550
信越化学工業	8.4	9.9	182,952
三菱ケミカルホールディングス	32.8	35.7	30,901
花王	12	13.1	89,826
富士フイルムホールディングス	9.6	9.6	72,499
資生堂	10	10.8	85,222
ユニ・チャーム	9.7	11.6	52,118
医薬品(7.0%)			
武田薬品工業	41.7	45.4	172,974
アステラス製薬	43.4	47.3	82,491
塩野義製薬	6.4	6.9	38,805
中外製薬	5.2	17.1	71,426
エーザイ	6	6	43,374
小野薬品工業	11.5	12.5	31,250
第一三共	14.3	46.8	117,538
大塚ホールディングス	9.5	11.3	51,494
石油・石炭製品(0.4%)			
ENEOSホールディングス	75.4	82	36,703
ゴム製品(0.8%)			
ブリヂストン	14.4	14.5	68,947

銘柄	期首(前期末)		
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
鉄鋼(0.6%)			
日本製鉄	22.2	25.7	51,875
非鉄金属(0.7%)			
住友金属鉱山	6.3	6.9	32,174
住友電気工業	18.5	18.8	31,330
機械(4.9%)			
SMC	1.6	1.6	102,128
小松製作所	22.7	24.7	78,669
クボタ	26.6	28.6	71,214
ダイキン工業	6.4	6.9	147,211
三菱重工業	8.4	8.6	27,657
電気機器(20.7%)			
日立製作所	24.1	26.2	148,580
三菱電機	50.1	54.5	93,031
日本電産	12.1	13.1	162,505
富士通	4.8	4.9	87,955
パナソニック	57.2	58.2	72,255
ソニーグループ	31.7	34.2	369,360
キーエンス	4.5	5.4	288,954
シスメックス	3.6	4.3	48,289
ファナック	4.8	4.8	123,600
京セラ	7	8.3	56,116
村田製作所	14.7	16	129,472
キヤノン	27	27.1	70,148
東京エレクトロン	3.2	3.2	150,784
輸送用機器(10.3%)			
デンソー	11	12	87,960
日産自動車	59.1	64.3	34,509
いすゞ自動車	14.5	—	—
トヨタ自動車	55.9	55.2	495,696
本田技研工業	39.5	42.9	143,586
スズキ	9.9	10.8	51,030
SUBARU	15.6	15.6	32,549
シマノ	—	2	49,700

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
精密機器(3.3%)			
テルモ	14.2	16.7	69,588
オリンパス	27.7	30.2	69,309
HOYA	10	10.7	151,405
その他製品(2.8%)			
パナダイナムコホールディングス	5.2	4.5	35,127
任天堂	3.1	3.1	207,979
電気・ガス業(0.7%)			
中部電力	15.3	16.7	21,718
関西電力	19	20.7	21,248
東京瓦斯	9.6	10.5	22,706
陸運業(2.0%)			
東日本旅客鉄道	8.8	9.6	73,257
西日本旅客鉄道	4.5	4.9	30,051
東海旅客鉄道	4.2	4.5	72,405
空運業(0.4%)			
日本航空	8.5	—	—
ANAホールディングス	8.7	13.9	36,598
情報・通信業(9.1%)			
Zホールディングス	—	73.5	38,131
日本電信電話	65.7	62.6	183,105
KDDI	36.6	42.9	157,228
ソフトバンク	44.7	48.6	68,453
NTTドコモ	36.3	—	—
ソフトバンクグループ	39	42.5	343,910
卸売業(4.9%)			
伊藤忠商事	34.5	37.6	122,200
丸紅	51.4	53	50,122
三井物産	43.4	43.6	104,291
住友商事	31.1	33.9	51,341
三菱商事	34.6	32.7	95,157
小売業(3.0%)			
セブン&アイ・ホールディングス	19.3	21	99,729
イオン	19	20.7	59,781

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
ニトリホールディングス	2.1	2.1	40,183
ファーストリテイリング	0.7	0.7	61,586
銀行業(6.5%)			
三菱UFJフィナンシャル・グループ	338.1	367.9	227,877
りそなホールディングス	54.2	62.1	28,814
三井住友トラスト・ホールディングス	9.3	10.2	38,250
三井住友フィナンシャルグループ	34.2	37.2	147,088
みずほフィナンシャルグループ	671.6	73.1	122,332
証券・商品先物取引業(0.9%)			
大和証券グループ本社	39.7	40.3	25,521
野村ホールディングス	87	82.1	50,023
保険業(2.7%)			
SOMPOホールディングス	9.3	9.5	41,382
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	12.9	13.1	43,020
第一生命ホールディングス	28	28.4	62,934
東京海上ホールディングス	17.7	17.7	90,801
その他金融業(1.1%)			
オリックス	30.9	32.7	61,639
日本取引所グループ	—	14.5	36,540
不動産業(2.0%)			
三井不動産	24.4	24.5	62,499
三菱地所	34.6	35.3	63,963
住友不動産	11.1	12.1	43,862
サービス業(5.1%)			
エムスリー	—	9.2	67,868
オリエンタルランド	5.1	5.5	86,625
リクルートホールディングス	34.3	37.3	206,455
日本郵政	39.2	39.4	35,720
セコム	5.1	5.1	44,155
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,159 100	2,769 99 <98.1%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 合計欄の()内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 株数が単位未満の場合は少数で記載。

○投資信託財産の構成

(2021年5月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 8,714,267	% 98.1
コール・ローン等、その他	170,338	1.9
投資信託財産総額	8,884,605	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年5月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	8,884,605,028円
コール・ローン等	83,702,376
株数(評価額)	8,714,267,700
未収配当金	86,634,952
(B) 負債	229
未払利息	229
(C) 純資産総額(A-B)	8,884,604,799
元本	4,528,055,659
次期繰越損益金	4,356,549,140
(D) 受益権総口数	4,528,055,659口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,621円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	4,373,723,278円
期中追加設定元本額	644,144,347円
期中一部解約元本額	489,811,966円
期末における元本の内訳	
SBI TOPIX100インデックスファンド(DC年金)	4,528,055,659円

○損益の状況 (2020年5月28日～2021年5月27日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	185,737,185円
受取配当金	185,751,334
その他収益金	49,833
支払利息	△ 63,982
(B) 有価証券売買損益	1,733,728,994
売買益	1,902,476,595
売買損	△ 168,747,601
(C) その他費用	△ 124
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,919,466,055
(E) 前期繰越損益金	2,286,415,466
(F) 追加信託差損益金	501,855,653
(G) 解約差損益金	△ 351,188,034
(H) 計(D+E+F+G)	4,356,549,140
次期繰越損益金(H)	4,356,549,140

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。